

概要版

第5期 都筑区地域福祉保健計画

つづき あい

2026年度(令和8年度)～2030年度(令和12年度)



都筑区
マスコットキャラクター
「つづき あい」



都筑区地域福祉保健計画
キャラクター
「つづちゃん」

この計画が目指すこと

私たちが生活する地域には、一人ひとりが異なる背景や考えを持ちながら、様々な暮らしが広がっています。一見、穏やかに毎日を過ごしているように見えても、実は困りごとを抱え、孤立している人がいるかもしれません。こうした課題は、誰か1人や1つの団体だけの力で解決できるものではありません。

そこで、**みんなが力を合わせ、課題解決に取り組み、安心して暮らせるまちを目指すための方向性を示すのが「地域福祉保健計画」**です。

都筑区では、この計画をより身近に感じてもらえるように、愛称を「**つづき あい**」としています。

計画を見ていこう!



都筑区社会福祉協議会
キャラクター
「ゆいピー」

わたしたちの目

やさしい言葉だとみんなが分かっているね



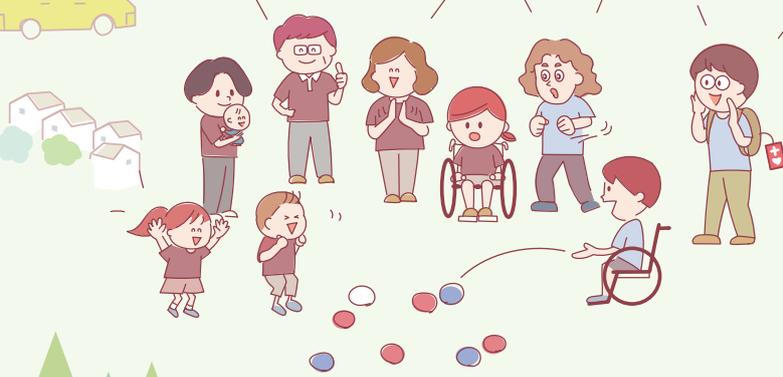
みんなでやると長続きする



最近引っ越して来たんです

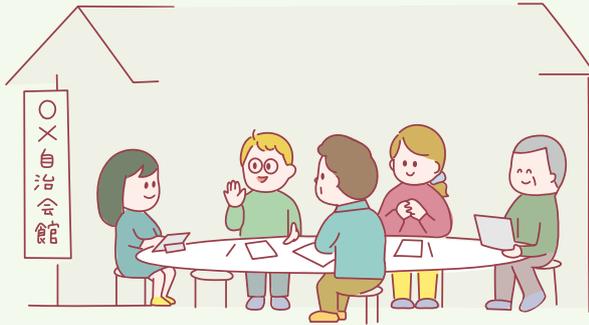


困っている

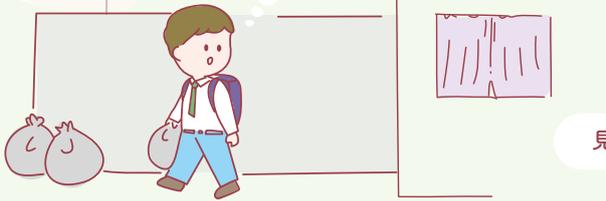


素敵な作品だね

自分の趣味が活かせて嬉しい



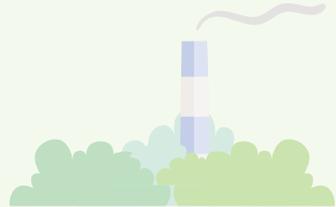
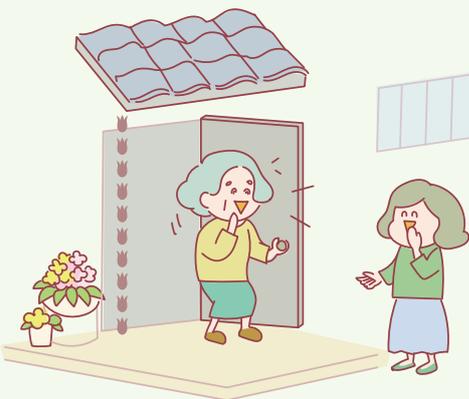
最近顔を見ていない心配だな



見守ってくれる人がいると心強い



みんなで食べるご飯はおいしい



まち 指す都筑区

このイラストは、「つづきあい」で目指す、みんなで作る都筑区の姿をイメージしています。子どもたちや区民意見募集等でいただいたアイデアをもとに作成しました。あなたの暮らしと重なるところはありますか？

ことがあったら
いつでも相談
ください



何かお手伝いしましょうか

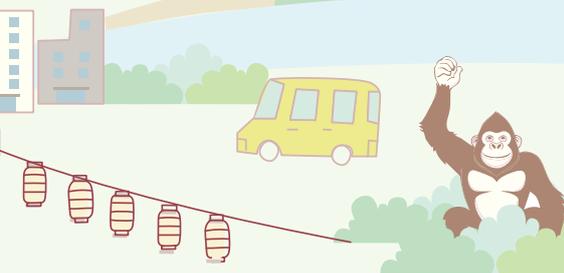


のんびり一人で
過ごす時間も大切

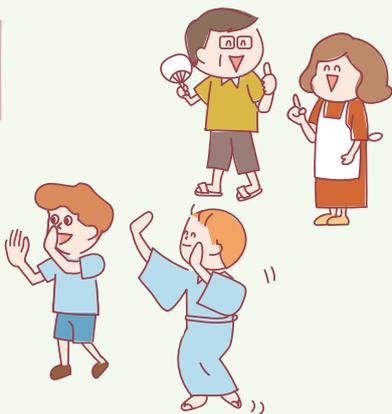


助かるよ。
分のことは
できるだけ
分でやるよ

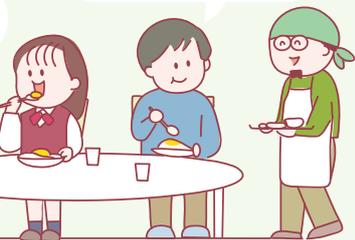
重たいものは
持ちますよ



農業を通じて
つながりが広がって
いくといいね



話ができる人がいると
ほっとする



ヘルプマーク：「援助や配慮が必要なことを周囲に知らせるための目印」です。

1 都筑区の特徴

都筑区には、「住む」「働く」「訪れる」「交流する」等、多様なかかわり方がある区です。現在（2025年1月1日時点）は、平均年齢が市内で3番目に若い区ですが、今後は急激に高齢化が進むことが推計され、全世代の健康づくりや地域・社会参加を通じたつながりづくりがますます重要となっています。

①人口
現在の人口は
約21万4千人。
18区中7位
(2025年12月1日時点)
今後人口は減少し、
2035年以降、
高齢化率が横浜市
平均を超える予想。



②世帯
1世帯あたりの
人数が多い。
18区中1位
(2025年12月1日時点)
今後、夫婦のみ世帯が
増える見込み。



③人の動き
0～14歳、30歳以上の
転入者割合が
市平均と比べて
多い。
(2024年中)



④健康
平均寿命、
平均自立期間※
が長い。
※日常生活に介護を要しない
期間の平均



⑤経済活動
農業、工業、商業が盛ん。
農家戸数……18区中1位
(2020年2月1日時点)
製造業事業所数……18区中2位
(2021年6月1日時点)
商店数……18区中4位
(2021年6月1日時点)



⑥多文化共生
86か国の方が
生活している。
(2025年11月末時点)



2 計画について

住んでいる人・学びに来ている人・活動する人など、
みんなで進める計画なんだね！

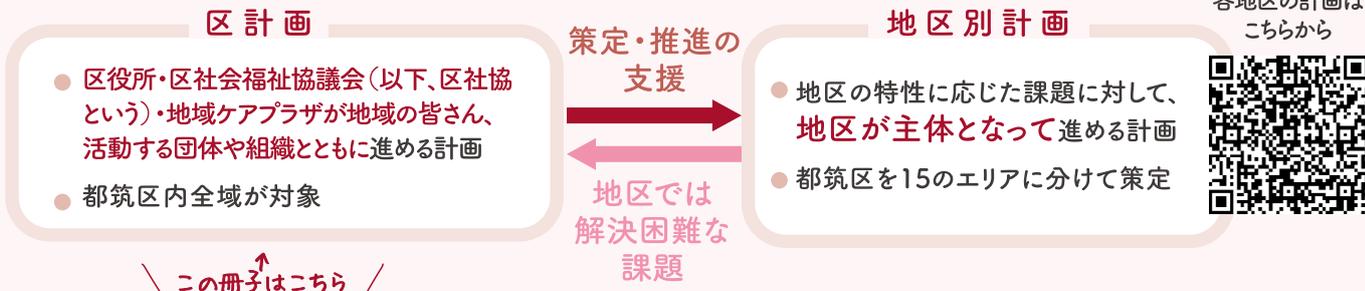
誰が対象の計画？

都筑区で生活している人、関わるすべての人が対象です。
それぞれの立場でできることを実践しながら、みんなで進めていきます。



計画の種類は？

「つづき あい」には、区計画と地区別計画があります。



計画の期間は？

第5期都筑区地域福祉保健計画の計画期間は、
2026年度(令和8年度)から2030年度(令和12年度)までの5年間です。



3 第5期計画の基本理念と目指す姿

基本理念

誰もが安心を実感しながら 健やかに住み続けられるまち つづき^{あい}♡を目指して

目指す姿

基本理念の達成に向けた地域の具体的な像として「目指す姿」を整理しています。



4 第5期計画のポイント

多くの人が身近な地域活動に関心を持ち、気軽に参加できる環境づくり

- 活動に関心がある人と活動団体をつなぐコーディネート力を強化します。
- 地域活動者が少なく、負担が大きい現状があります。多様な人・団体の参入やデジタル化によって、活動が十分に継続できるような工夫を行います。

誰も取り残さない地域づくり

- 困りごとを表出することが難しい人に、周囲が気付き、支援機関等につなぐことができるよう、福祉保健の情報発信や見守りの目を増やしていきます。
- 孤立予防、生きがいづくりのために、日常生活の中にある居場所の継続・創出に取り組みます。

多様性の尊重

- 誰もが尊重され、自分らしく生活できる環境づくりを進めます。
- 立場や背景で区切らず、お互いを知る機会や、様々な人が交流できる場を継続し、ささえあいの気持ちを育んでいきます。

様々な人や組織との協働

- 大規模商業施設や学校、NPO法人、地元企業等が数多くある都筑区の強みを生かして、福祉保健活動のすそ野を広げます。



5 目指す姿と推進に向けた具体的な取組

目指す姿1 であい

であいが広がり、つながる機会がたくさんある



背景・課題

- 地域で活動する人の固定化や減少により、負担が増加し、活動の継続が難しくなっている場合があります。
- また、価値観やつながりの多様化で、身近な地域での人と人とのつながりが希薄化しているとの声も聞かれます。
- しかし、困りごとがあっても、自分や家族だけでは解決できない時があります。災害等の緊急時はもとより、日常生活の中でも、共助によるささえあいが重要です。

区役所・区社協・地域ケアプラザが地域に関わる皆さんと取り組んでいくこと

- ① 多くの人気が気軽に参加できるきっかけづくりを進めます。
- ② 地域で活動する団体や住民同士の交流の場をつくります。
- ③ 地域の身近なささえあい活動を進めている団体を支援します。
- ④ 多くの人や団体と地域がつながりをもてるよう、コーディネートに力を入れます。
- ⑤ 地域活動を応援する法人・商店・企業等との連携を進めます。
- ⑥ 多くの人に情報が伝わるよう、工夫して発信します。

あなたができそうなことは何だろうか？

＼こんな取組が広がっています！



誰もが楽しめる音楽コンサート

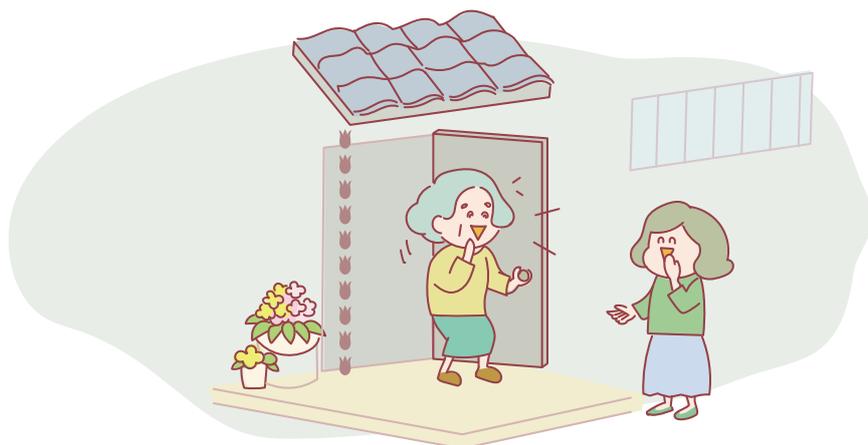


多世代参加のパン作り



あなたの一歩で
地域はもっと良くなる。

ささえあい、健やかに生活できる



背景・課題

- 本人自身や家族に困り感がなく、相談できることに気が付かない結果、適切な相談につながらず、様々な課題が深刻化・複雑化することがあります。
- 周囲の人が困りごとに気が付いても、1人では行動できず、抱えてしまう場合もあります。
- 1人でも健康づくり・介護予防の取組は実施できますが、つながりをつくることで、より心身の健康に効果があります。実際に、身近な活動を通じて、顔の見える関係が作られ、安心や生きがいにつながっています。

区役所・区社協・地域ケアプラザが地域に関わる皆さんと取り組んでいくこと

- ① 日頃からのささえあいの大切さを広めます。
- ② 身近な地域における居場所づくりを推進します。
- ③ 適切な相談先を案内するために、各団体が相互に役割や機能を十分に把握します。
- ④ 地域ケアプラザ等、身近な地域での相談先を引き続き周知します。
- ⑤ 身近な地域での健康づくり・介護予防に取り組めます。
- ⑥ 福祉保健に関する情報を地域と共有し、住民の気づきを大切にしながら、様々な困りごとを地域とともに解決していきます。
- ⑦ 分野やテーマごとのネットワークを通じて、各種機関同士の連携や、課題解決に取り組めます。

あなたができそうなことは何だろうか？

こんな取組が広がっています！



身近な地域でからだの相談会



地域のボランティアによる小中学生への朝食提供の様子

誰かのちよとした困りごとに、あなたの一言が力になるよ



多様性が尊重され、その人らしく生活できる



背景・課題

- 誰もが自分らしく暮らしていくためには、それぞれが優先していること・大切に思っていること等をお互いに認め合い、尊重し合える意識を高めていくことが大切です。
- 様々な立場や背景のある人に対する偏見や差別があることで、本人が生きづらさを感じたり、当たり前で暮らすことが難しくなっていたりする人がいます。

区役所・区社協・地域ケアプラザが地域に関わる皆さんと取り組んでいくこと

- ① 様々な人が立場や背景を超えて交流する場をつくれます。
- ② 「人はみんな違って当たり前」を理解するための講座や研修を開催します。
- ③ 自らの意思が反映された生活を送ることができるよう支援します。
- ④ 誰もがやりたいことを実現でき、自分らしく活躍できる環境を整えます。

あなたができそうなことは何だろう？

こんな取組が広がっています！



福祉教育



障害者や高齢者の作品展



あなたらしい
答えでいいんだよ。

お問い合わせ先

都筑区役所 福祉保健課事業企画担当

☎ 045-948-2344

☎ 045-948-2354

✉ tz-tifuku@city.yokohama.lg.jp

社会福祉法人 横浜市都筑区社会福祉協議会

☎ 045-943-4058

☎ 045-943-1863

✉ info@tuzuki-shakyo.jp

計画の詳細は
こちら

